

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成27年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/8 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 5/7 総代会(迦葉山開帳)
- 6/15 先々代五十回忌法要
- 6/27~6/28(一泊二日)
県青年会主催第53回群馬緑
蔭禅の集い(会場、仁叟寺)
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7/29~7/30(一泊二日)
第34回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 10/2 県宗務所主催特派布
教師巡回(会場、仁叟寺)
- 11/11~11/12 県宗務所主催
檀信徒研修旅行(總持寺他)
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日
梅花講・琴教室・華道教室
- ※群馬県宗務所執務日
月・水・金曜日

当山二十九世再中興雲巖石橋大和 尚五十回忌^{併修}大本山總持寺二祖峨 山韶碩禪師六百五十回大遠忌法要



↑ 29世再中興
雲巖石橋大和尚



上) 随喜御寺院様集合写真 左) 五十回忌法要をお勤めされる大本
山總持寺副貫首石附周行老師 右) 大遠忌法要導師、仁叟寺住職

6月15日、仁叟寺29世再中興雲巖石橋大和尚五十回忌法要が、大本山總持寺副貫首石附周行老師ご導師の下、50人もの随喜寺院様、また檀信徒の皆様方と共に、厳粛かつ荘嚴に修行されました。併せまして、当山住職導師にて、大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師650回



大遠忌法要が営まれました。本法要に当たり、200名を超える参列者はもとより、100名以上の志ある檀信徒の皆様方より、献香料を頂戴いたしました。改めて御礼申し上げます。

←受付を勤めました総代人の皆様方

仁叟寺徒弟 大光哲道上座得度式



去る3月8日に修行されました仁叟寺恒例の大般若会及び大施食会法要に先立ち、徒弟渡辺哲道君の得度式が、厳粛に執り行われました。

← 初めて衣を纏い式に臨む
→ 式に随喜された御寺院様



渡辺哲道君は、現在多胡小学校5年生（式当日は4年生）。副住職夫妻の長男で、住職夫妻の孫、東堂夫妻の曾孫になります。10歳を迎えた年の恒規法要にて、曹洞宗儀に則り得度式が、多くの檀信徒の皆様が見守る中、無事立派に勤められました。得度の師匠を受業師と申し、仁叟寺住職が導師を勤めました。得度に当り、僧名が授けられ、この日より「大光哲道上座」となりました。大衣一式は、龍源寺出牛裕一総代長より寄進されました。有難うございました。

上毛新聞特集記事「さよならのカタチ」より

災害時の避難所指定等、寺の取り組みが紹介されました。

2015年(平成27年) 5月26日(火曜日) 上毛新聞(20)

現代写眞者 さよならのカタチ

現代写眞者... 2015年5月、高崎市... 仁叟寺の恒例行事である大般若会... 大光哲道上座の得度式... 寺の取り組みが紹介されました。

災害時心のよりどころ

「寺と社会の良い接点をつくっていききたい」と話す渡辺さん... 仁叟寺の取り組みが紹介されました。

曹洞宗が3割で最多

「自宅葬」参列経験少なく... 自宅葬の参列経験が少ないことが明らかになった。

途切れた縁つなぐ

井田 伶良さん... 1977年、伊勢崎市生まれ。短大卒業後、24歳で実家の井田石材店に入り、墓石デザイナーとして活動する。

生への証しに名前刻む

井田 伶良さん... 生への証しに名前を刻む... 墓石に名前を刻むことで、生きていることを証明する。

地域に開かれた寺に

渡辺 龍道さん... 仁叟寺副住職... 地域に開かれた寺に... 寺の取り組みが紹介されました。

「自宅葬」参列経験少なく

アンケート... 「自宅葬」参列経験が少ないことが明らかになった。

年齢層	割合
10代	18%
20代	22%
30代	23%
40代	27%
50代	34%

仁叟寺除夜会、大節分会 本年も盛会裏に圓成



← ↑左よりスリランカ僧シーラ師、中曽根康隆氏、富岡賢治高崎市長、中曽根弘文参議院議員、福田達夫衆議院議員御令室様、住職、飯塚邦広高崎市長、福田区長、サンコー寺本欣一治社長、記者



昨年12月31日に、恒例の除夜会を開催。また、本年2月3日には、同じく恒例の行事、大節分会を修行いたしました。

本年も両日共に、多くの参詣者が見えられ、我が国に伝わる歴史と伝統ある年中行事をお勤めすることが出来ました。特に大節分会では、来賓に見えられた方々に年男年女の方々と豆撒きを行っていただきました。また、例年のことではありますが、同行事を勤めるに際し、総代さん役員さんには大変お世話になりました。

↑チャリティバザーも開催 ↑総代さんによる事前準備 厚く御礼申し上げます。

群馬県曹洞宗青年会主催

第53回群馬緑蔭禅の集い 仁叟寺にて修行

本年で第53回目となります「群馬緑蔭禅の集い」が、仁叟寺を会場に6月27~28日の一泊二日に亘り、開催されました。

同集いは、副住職が会長を務めます群馬県曹洞宗青年会の主催の恒例行事で、本年は講師に青森県恐山院代の南直哉老師を迎え、参加者35名・随喜会員44名と共に修行いたしました。開講式は、曹洞宗群馬県宗務所長であり会場主でもある仁叟寺住職が導師を勤め、挨拶。坐禅は勿論、南老師による法話、新井慈観先生による写仏、皆で行う清掃作業を意味する作務、ほか諸々の法要等を通じ、身心一如の修行生活が、当山を舞台に行われました。

また入浴に当たっては、サンコー72カントリークラブを利用させていただきました。有難うございました。来年も同集いは青年会によりお勤めされます。坐禅に興味・関心のある方は、是非ご参加下さい。



→(上)ポスター、(下)新井慈観先生の写仏講義

第五十三回
群馬緑蔭禅の集い
身心一如

坐禅

【日程】平成27年6月27日(土)~28日(日)
【会場】天祐山 公田院 仁叟寺 〒370-0233 群馬県高崎市吉井町神保 1295
【講師】南直哉 老師 福井県福井市 宝泉寺住職、青森県 恐山菩提寺院代
【申込先】群馬県曹洞宗各寺院・県の集い事務局
【事務局】〒372-0834 群馬県伊勢崎市南口町655 露雲寺内
Tel. 0270-32-2494 Fax. 0270-32-2951
事務局直通 080-9721-9605 (お問い合わせはこまめにお願いします)
〈主催〉群馬県曹洞宗青年会 〈共催〉曹洞宗群馬県宗務所
〈後援〉大本山永平寺 大本山地持寺 県内曹洞宗寺院
上毛新聞社 群馬テレビ エフエム群馬 ラジオ高崎



高崎市里山元気再生事業報告



↑ おてんま風景（もみじ山）
← 奉仕役員ほか集合写真

本年も継続事業となりました高崎市の里山元気再生事業。仁叟寺竹林を整備し、地元と檀信徒の皆様方のご協力のもと、鋭意進めております。既に伐採した竹は7,000本を超え、その跡地にはモミジ、サクラを計200株以上、植樹いたしました。なお、同事業には矢島巖、金井正男、小沢昇、加藤壯士各氏に、特にご尽力いただき、感謝しております。

当山及び地域では、4月と6月に山内関係者及び総代さん役員さん始めとした有志にて、おてんまを行い下草や篠竹刈り等の作業を行いました。また、8月お盆前におてんまを行う予定です。暑い時季で恐縮ですが、お盆様を清々しく迎えられよう、引き続き、関係各位にはお世話になります。宜しくお願い申し上げます。

自らを洲とする ～東日本大震災被災地復興支援～



↑ 福島群馬青年会合同の奉仕作業

副住職が会長を勤めます群馬県曹洞宗青年会では、去る5月19日から20日に掛けて、福島県南相馬市及び浪江町に慰霊及びボランティア活動に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会会員23名と福島県曹洞宗青年会会員23名、合計50名ほどで、福島県被災地域及び新祥寺様での慰霊と奉仕活動をさせていただきました。

福島県曹洞宗青年会の会長及び副会長は、副住職と同じ大本山總持寺での修行仲間。お互いに何か出来ることを考え、昨秋に両会会員有志で下見を兼ね同作業を勤め、今回の両会挙げての慰霊及び支援活動に繋がりました。南相馬市小高地区での奉仕作業や同市萱浜地区、今なお居住制限のある浪江町にて慰霊碑前等にて法要を勤めました。ほか、県青年会で修行した托鉢の浄財を、地元社協ボランティアセンター等へ支援金としてお渡し申し上げました。

また、仁叟寺での各行事で集めました支援の浄財は、この機会に被災地支援活動に福島民報社様を通じ寄進いたしました。ご協力有難うございました。

↓ 福島民報に掲載されました



慰霊法要 ↑ →



平成26年度寄進者一覧（順不同、敬称略）

番号	地区	氏名	寄附品物
1	東京	向井 善彦	両大本山紋入赤紫香台掛
2	東京	山田 美紗子	蠟型獅子脚龍巻大香炉
3	吉井	井上 隆	
4	多胡	齊藤 将聡	蠟型鑄銅瑩山禅師尊像
5	多胡	井上 俊和	
6	高	落合 裕明	
7	吉井	大河原 圭男	青銅製風鐸（山門四方）
8	南陽台	井野 智央	
9	矢田	關谷 隆治	
10	神保	青木 章	青銅製風鐸（鐘楼堂四方）
11	伊勢崎	小野塚 博久	
12	南陽台	吉田 正義	
13	多胡	井上 正俊	里山再生事業寄附金
14	神保	神保 堯男	寺紋入座布団50枚
	神保	神保 京子	
15	塩	落合 喜久男	外用アルミ製水桶台
16	高崎	金澤 英子	般若心経彫払子
			端溪大硯及墨蹟四点
17	矢田	齋藤 悦男	龍鳳凰総金襴袈裟
18	吉井	井上 幸子	米沢紬紺両大本山紋入袈裟
19	新盆檀信徒一同		欣光閣厨房他床張替
20			住職用冬用改良衣

御寄進、誠に有難うございました

合掌

寺族渡辺恵津子 「梅花一級詠範合格によせて」

私が6歳だった頃の冬、2歳年下の弟が風邪がもとで亡くなりました。その頃、私は当時では珍しく浄土真宗寺院の幼稚園に通っておりました。弟に、お風呂の中で覚えたての唄を教えてあげる小さな姉でした。『のんの ののさま ほとけさま・・・』と、何の意味もわからず…。この元風景が、私の中に根強く残っていたと思います。梅花とのご縁は二十余年前、全林寺講に参加させていただいたのが始まりです。その後、高崎大雲寺様で月一回勉強会が開かれるとのことで全林寺寺族田川ルリ子様と習い始め二十三年になりました。梅花の唱えのみならず、曹洞宗のこ

と、作法のこと、また同じ志を持った先生・仲間との出会いが今の私の「宝」となっております。講員さんの中には、幼い頃、祖母様が唱えていた梅花・お念仏を聞いていた方が多く、私と似た思いをお持ちの方が沢山おられます。昨年十二月、お陰様で一級の試験に受かりました。これからは、出来ましたら梅花の大なる魅力を少しでも伝えられたら幸いと思っております。

『御仏の 御名を唱える 声聞けば 我が声ながら ありがたきかな』

この様な諸先輩のお唱えに一歩でも近づきたく、講員さんと共に精進したいと思っております。



↑先々代五十回忌法要での梅花流詠讚歌奉詠